

Case 10 婦人子供服製造

ものづくりマイスター
金武 節子さん

派遣先学校
佐賀県立牛津高等学校

ものづくりマイスターの派遣を依頼した理由

将来の仕事につなげるために
プロの技能と姿勢を知ってほしい

背景 将来の仕事により近づくきっかけとして

家庭科単独の専門高校である本校には、具体的な夢や目標を抱いた生徒たちが入学してきます。ファッション業界を夢見る生徒が集まる服飾デザイン科では、将来の仕事により近づくきっかけとして、ものづくりマイスターによる指導をお願いしています。私たち教員ではフォローしきれない、日々のトレンドに応じたシルエット、素材やデザインなどについて分かりやすく教えていただきたいので、第一線で活躍されている金武マイスターに指導をお願いしました。

効果 プロの技と姿勢に触れ高まる意欲

金武マイスターによる実習では、テーマに即したデザイン画を描くことから始まり、グループごとに1着の洋服を作り上げます。パターンづくりや縫製・仕上げ時のコツ、デザインや生地に対する考え方など、金武マイスターは惜しげもなくプロの技を披露してくださるので、生徒たちは目を輝かせて見入っています。私たち家庭科教員も勉強になることが多くあります。生徒たちは、金武マイスターの仕事に対する姿勢を通してプロの世界の厳しさを知るとともに、さらに仕事に対する意欲を高めていると感じています。



佐賀県立牛津高等学校
服飾デザイン科 教諭
いさやま 久美さん
諫山 久美さん



技能向上にチャレンジし続ける姿勢が 仕事に対する意欲や興味を盛り上げる

佐賀県立牛津高等学校

〒849-0303 佐賀県小城市牛津町牛津 274

設立年 昭和38(1963)年
学校長 時貞 充尚
学科 生活経営科、服飾デザイン科、
フードデザイン科、食品調理科
在校生数 460名(2019年12月現在)



昭和38年に設立された、全国でも数少ない家庭科単独の専門高校です。「清純・知性・友愛」を校訓に、心身ともに健全で調和のとれた有為な職業人として志を高く持ち、社会に貢献する人材の育成を目指しています。生活経営科、服飾デザイン科、フードデザイン科、食品調理科という4科があり、服飾デザイン科では、ものづくりマイスターによる実習を通して技能向上に取り組んでいます。

プログラム内容

実施課題 洋服の製作(ファッションショー作品)
目的 デザイン画からの立体表現を実践指導
受講対象 服飾デザイン科3年生 36人
ものづくりマイスター 金武 節子

- 1回目 オリエンテーション、デザインの検討・解説
パターンメイキングの理論と実技、裁断の要点
- 2回目 仮縫い補正の理論と実際、立体縫製①
- 3回目 立体縫製②
- 4回目 立体縫製③
- 5回目 立体縫製④、仕上げ



概要

「婦人子供服製造職種」は、婦人服、子供服を作成する仕事を対象としています。実習では、グループごとに考えたデザインをデザイン画に落とし込むところから始め、パターンメイキング、裁断、仮縫い、立体造形(縫製)、仕上げまでを一貫して指導しています。

INTERVIEW

ものづくりマスターと
受講者が語る

自分の頭で考え理解し 仲間と学び合う実技指導

自分の頭で考えること そして仲間と協調する姿勢を学ぶ

実習は生徒が3~5人の9グループに分かれ、ドレスの製作に取り組みます。2019年度の課題は「和服のリメイク」と「特殊素材（反射材）」。完成したドレスは、校外で開催されるファッションショーで披露されます。

金武 私が心がけているのは生徒たちに「考えさせる指導」です。技能習得には、すべて説明するのではなく、生徒たちに自分の頭で考え、理解させることが大切です。また、実際にプロとして働くならば、多くのスタッフと協調しなくてはいい仕事はできません。グループで1つの作品を作り上げるこの実習は、人と協力してより素晴らしい作品を作り上げるトレーニングでもあります。

副島 グループごとに「ブランド」を意識しながら洋服を作り上げるのはとても楽

しいです。でも、頭の中で考えたデザインを実際に形にするのは難しかったです。和服の帯を使いたいと考えていたのですが、なかなか納得のいくデザインになりませんでした。でも、金武マスターの一言をヒントに手直すことで、全体的に統一感が生まれて驚きました。

尾鷲 グループの中で話し合っただけで考えが煮詰まってしまう時に、金武マスターがすぐにアドバイスして下さるので、本当にありがたかったです。

生徒が待ち遠しくなる プロの技能

婦人服のオーダーメイド店を営む金武マスターは、20年近い県立高校での実習指導の実績があり、牛津高等学校の生徒たちは、1年生の時から指導を受けています。

金武 実習はグループに分かれて取り組みますが、各グループが自分たちで相談

しながらそれぞれのコンセプトを立てて、グループの個性=ブランドを打ち出した洋服づくりができるようアドバイスしています。

副島 人を美しく見せるファッションの仕事に憧れて、この学校に入学しました。昨年は高校生のファッションコンテストにもチャレンジしました。金武マスターは基礎から応用まで、分かりやすくプロの技能を指導して下さるので、毎回の実習が待ち遠しいです。



生徒に「考えさせる指導」を心がけています



ものづくりマスター
(婦人子供服製造)
かねたけ せつこ
金武 節子さん

金武マスターの
挑戦し続ける姿を
尊敬します



服飾デザイン科3年
おわし ななみ
尾鷲 七海さん

プロの一言アドバイスで
ドレスが見違えるほどの
出来栄になりました



服飾デザイン科3年
そえじま みや
副島 海椰さん

尾鷲 映画や雑誌を通して、ファッションデザイナーになりたいと思うようになりました。入学した頃は将来について全く白紙の状態でしたが、3年間でファッションの仕事に求められることをできるだけたくさん吸収しようと頑張ってきました。金武マスターの実習では、素晴らしい技能を目の前で見せてくださるので、とても参考になります。

個性へとつながるのは 基礎的な技能と丁寧な仕事

ファッションデザインのコンテストで数々の栄誉に輝いてきた金武マスターは、現在も積極的にコンテストに出品されています。実習の中で、生徒たちに「ぜひ皆さんもコンテストにチャレンジを。新人賞を狙いましょう!」と呼びかけます。

金武 私も生徒たちの若いセンスから刺激を受けています。プロは何歳になろうとも学び続け、チャレンジし続けるもの。そのためには、しっかりとした基礎的な技能と、丁寧な仕事をするための土台が必要で。個性はその先に生まれるのです。生徒の皆さんには、そのことを心がけながら頑張ってもらいたいですね。

副島 金武マスターからプロの技能と

考えを学べるのは、本当に幸せな体験でした。ものづくりの難しさを知りましたが、だからこそ一生をかけて取り組める仕事だと感じました。

尾鷲 金武マスターのチャレンジし続



ける姿勢を尊敬しています。来年からファッションデザインの専門学校に進学します。私もずっと勉強して、チャレンジし続ける生き方がしたいです。



ものづくりマスター 金武 節子さん

平成25年度 厚生労働省「ものづくりマスター（婦人子供服製造職種）」認定
指導内容
技能検定（婦人子供服製造）1級～3級レベルの実技指導など
技能指導の実績
学校向けの洋裁の実技指導

長年婦人子供服製造業務に従事し、昭和54年に独立。現在は、佐賀県・有田町でオーダーメイドの婦人服を扱う「アトリエ節」を経営しています。数々のファッションコンテストでの受賞歴があり、高校生など後進への技能継承のため意欲的に活動されています。